

健康と光線

賀 正

昭和55年元旦



東京光線療法研究所
サナモア光線協会

近時欧米諸国では、光生物学が周辺科学の進歩と呼応して盛んに研究され、未知の作用が闡明され、斬新な業績が活発に報じられており、光線医学も大きく飛翔しつつあります。

光線医学の歴史を顧みると、西暦紀元前二世紀頃の古代遺跡から、当時の人々が日光療法を賞揚していた有様が分ります。しかし中世になると、あらゆる科学が宗教の支配下におかれた結果、疾病治療においても、新鮮な空気や日光が病気に有害と

まで極論された、所謂暗黒時代がきます。

しかし人類の叡智は、

ルネッサンス(文芸復興)の時代を迎え、改めて光線の必要性を認識するに至り、19世紀の欧州では、ベルンハルト、ロリエなど光線医学の先達の指導のもと大規模な日光療養所が作られ、当時の医家の予想を越える華しい成果を挙げ、一時は薬物療法に迫るかの勢があったのです。そして19世紀末の電気の発見は、便利な人工光線を生み、光

発行所
〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18
(株)東京光線療法研究所内
サナモア光線協会
年4回発行
会費 年500円
電話 東京 (03)
793-5281
712-5322

光線医学研究の回顧と展望

—新しい年の始めに想う—

宇都宮 光明

をスペクトル別に生成することすら可能になりました。しかしこのことは、光線研究を紫外線に偏向させる結果を招きました。これは紫外線が化学線の別名が示す如く比較的研究しやすく、研究成果が評価され易かったためです。このため日光療法に始まった光線療法は、紫外線

児黄疸に対する光線療法は、一九五八年クレマーが発表してから、実に10年を経て、一九六七年ルーシーによって再評価され、始めて効果が確立したのですが、可視線で有効なものです。そして前号で紹介したDNA修復能も、また然りです。

このように光線的作用は多方面から検討されていますので、今後その適応症の範囲を広げるものと思われませんが、光線療法が健康法を兼ねた自然療法であり、時間と人手を必要とし根拠を重んじる病院医療には馴染にくい一面があります。これは例

療法となり、かえって本当の良さを見失ったと思います。日光とは似ても似つかぬ線スペクトルの紫外線発生装置である水銀石英灯が、人工太陽灯の名で呼ばれたのです。

ところが最近の研究はこの弊害に気付き、可視線、赤外線にも及んでいます。近代光線医学上、最大の発見の一つで、世界中で臨床に應用されている新生

えは健康食品、手技療法、温泉療法などが馴染にくいのと一脈相通じるものです。ここに家庭療法として光線療法が普及した理由があります。

今、光線医学の上にも、大きなうねりが押し寄せています。現代医学の技術を用いて、光線の治療への応用に関する研究を目的の一つに掲げた光生物学会が、一九五二年アメリカで設立

され、2年後の一九五四年には国際光生物学会が発足しております。そして本年6月にはフランスのストラスブルグで、第8回国際光生物学会の開催も決っています。この動きは我国にも反映し、やや遅きに失した感があります。昨年の「光医学、光生物研究会」が創設され、8月名古屋に於て、第一回総会が開催され、私も出席しました。

光線の臨床応用にかんする過去の業績や最新の研究報告を通して、光線療法には紫外線、可視線、赤外線を連続スペクトルで用いなければならないという確信が芽生えることを禁じ得ません。既に完璧に作られている日光に近づくことこそ王道です。光線療法にスペクトルの一部分を使用したのでは、本来の効果は期待できず、ましてや地上に存在しない短波長の紫外線は有害です。

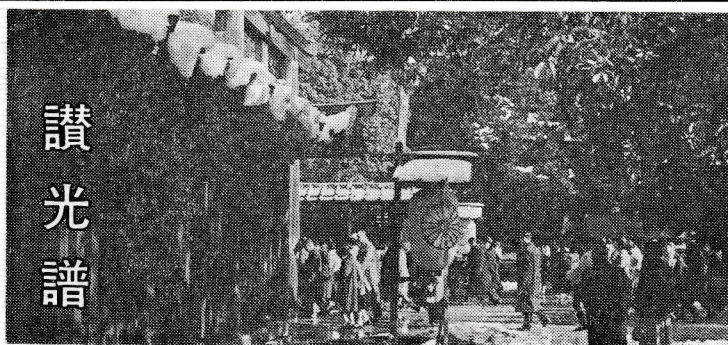
前東京光線療法研究所所長、宇都宮義真が、連続スペクトルを放射する唯一つの治療器、カーボアーク灯に着目し、総合光線療法と名づけ、この目的に合致するカーボンの製造に意欲的に取り組み、揖斐川電気工業(株)の協力を得て、昭和13年初の国産化に成功、その後も改良に改良を重ねて、完全なスペクトル分析が行なわれた、世界に誇るに足るサナモアカーボンを作った先見を想うのです。

初詣

宇都宮義真撮影



讃光譜



同じ食事をしていても気分のよい時は消化がよく、気分がすぐれぬ時は消化が悪い。

ある医者が、薬袋に「信んじなければ効果がありません」と書いてありましたが、誠に真理をうがっています。

信んずれば効果が大きく、信んぜざれば効果の少ないこと斯くの如くであります。

○ 光線は空気や水と同じ様に、之が無ければ我々は一日も生きて居られぬ非常に貴重なものでありますが、比較的容易に得られるために軽視されています。

○ 光線には我々人類の病気を防ぐ力と、若し病気にかった時は之を治す力のあることは勿論で、薬や注射の及ばぬ作用があります。

○ また光線が殆んど万病に効果

光

熱

と

があるのも、物の形ばかりにとらわれて、エネルギーと言うことに理解のない人には不思議に思われます。

○ 病者にも、健康者にも、動物にも、植物にも、凡そ生あるものには之を用いて可ならざるなきは、恐らく光線のみではないでしょうか。

大恩を信じて

行え

宇都宮義真

○ 而も、「大恩は遂に謝せず」の例に漏れず、光線の真価を味う人の少ないのは誠に遺憾であります。

○ 光線療法は既に議論の時代ではなく、実行の時代に入っています。現今では学理的に見ても、経験的に見ても、光線の治療作

用を疑う人はありますまい。

○ 人智が如何に進んでも人工的に葉緑素を作ることは不可能であります。日陰のモヤシを青くする方法は光線を与える以外にありません。

○ 何事をして、不安のうちに右せんか左せんかと迷っていた

ことわざ「断じて行なえば、鬼神も之を避く」と言うではありませんか。

○ 光線治療器サナモアを通して、光線と生物との関係を理解し、案外平凡な処に真理のあることを了解せられんことを希望します。

○ 若し御病気で苦しんでいられる方で、光線療法を御存じない方がありましたら、是非とも体験者より、おすすめ願ひ度いのです。

「光と熱」昭和13・3・1発行
信じて行え
「光と熱」昭和13・5・1発行
大恩は謝せず
より

サナモア光線協会便り

一、季刊紙「健康と光線」については、正確な管理と運営を心掛けておりますが、受信人不明で返送される場合があります。住所変更の折には忘れずに御一報下さい。

一、サナモア中央診療所では、光線療法についての医療相談に応じておりますので、お気軽に御利用下さい。なお希望者は、協会へ予約して下さい。

一、愛用者だよりなどの投稿をお願いいたします。また紙面についての御感想も合せてお知らせ願ひます。

(二) これから光線の間接作用を中心し、遂次具体的に記述する。その意図は、現代人の生活環境が、兎角光線から遠ざかる傾向にあるが故に、結果的に如何なる弊害があるかを考えることにある。

(ま) ず日光ビタミンと云うべきビタミンDの作用から始めよう。ビタミンDが、カルシウムの吸収を促し、クル病の予防や治療に効果のあることはご存知の通りで、本紙上にも「抗クル病作用発見の経緯」と題して既述した。しかし近年ビタミンDには、他にも広範な作用があることが知られ、改めて重要性が注目されている。

(こ) こでビタミンDについて言及する。ビタミンDと他のビタミン類との最大の相違点は食事のみでは必要量を確保し得ないことである。しかし光線が作用すれば、活性型ビタミンDに変化するエルゴステロールや、7-デヒドロコレステロールは、何処にでもある。この事実、光線を浴びる浴びないが、ビタミンD欠乏症になるかならないかの別れ道になることを示して

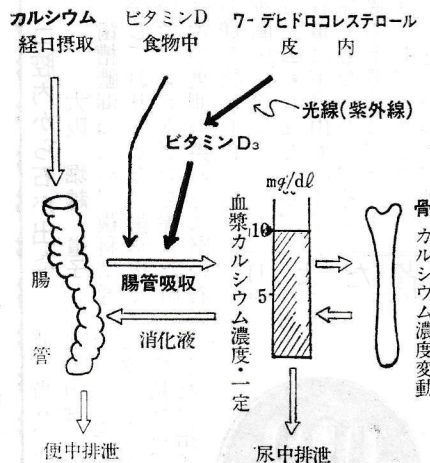
いる。(図参照)

子供のクル病、大人の骨軟化症は、光線不足によるビタミンD欠乏症に原因があることを正しく認識し、光線なしには一トンのカルシウムを摂っても何んの役にも立たないことを知らなければならぬ。日光の下で遊ばせない子供は、栄養をどんなに与えても、骨折や脊柱の彎曲異常を起し易いのである。

(カ) ルシウム代謝についても補足しておく。(図参照) カルシウムは普通食に必要な量は含まれていて、ビタミンD欠乏がない限り限りカルシウム欠乏も起きないのである。カルシウムは腸管から吸収され、成人の体内総量は約一、〇〇〇gで、その99%が骨や歯に蓄積され、1%が血液中にある。この僅か1%の血中カルシウムに、生命保持の欠くべからざる働きがあり、

応用光線療法学

□ ビタミンDの作用 □ その1



カルシウム代謝

域にあることに如実に示されている。この点からも適当な光線浴が欠かせないことが容易に納得できよう。

(し) からば、日本人は必要量の光線を浴びているだろうか。日本は比較的光線に恵まれているが、紫外線曝露量は春秋に比

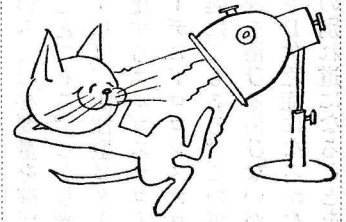
骨や歯を犠牲にしても一定に保つのである。そして、簡単に、血中カルシウム値の測定はできるが、体内カルシウム総量を知る手段がないため、カルシウム不足は医学的にも看過されている。このことは、クル病患者で(パーダーシステム)のため、クル病や骨軟化症に罹るとい

医学博士
宇都宮 光明

アメリカでは緯度が南になる程低いこと、スイスでは高地で低いことから(この成績はクル病と全く一致する)紫外線に予防効果のあることを報告した。グレイウスは、ゴールドパークの研究を追試確認するとともに、実験的にカルシウム欠乏状態で神経繊維を囲む、ミエリンが脱落することを明らかにし、多発性硬化症と同じ神経障害を再現した。これらの研究は、難病に指定されている多発性硬化症の予防ならびに治療に、一筋の曙光をみるもので、重大な問題提起である。

(以) 前から先の研究以外にも、地理病理学的には、多発性硬化症と光線の関係が指摘されていたにも拘らず、光線療法の治療効果については殆んど検討されていなかった。

ところが幸いにも、海渡先生(川崎市、東京光線治療院)が、本症の貴重な治験例をお持ちなので、六面に発表して頂いた。本症は比較的稀なため、治験例の積み重ねは容易ではないが、同じ様な症例があれば、是非とも光線療法を試して、ご報告頂ければ幸甚である。



一治験例報告一

☆気管支喘息の発作

症例 18才 男性

症状 小児期より皮膚病、喘息を交互に起し、色々と治療したが完治しない。

今回の喘息発作は、午後8時頃突然起り、医師が往診して四本注射したが収まらず、これ以上の注射は危険を伴うため難かしいと云われたので、午後10時頃なんとか助けてほしいと求められて出張治療した。

患者は起きあがって、笛の音の様な呼吸をし、呼吸困難のあまり、爪で手の平を切ったとの事で、血が流れていて何んとも凄まじい姿であった。

療法経過 何よりも呼吸困難を救うことが第一と考え、Aカーボンで膝下、足首、足裏各十分、次いで再び膝下十分が終る頃には、少しずつ呼吸が楽にな

り、話をする様になった。この

ように発作の激しい時には、足の治療を行いながら、発作の鎮まるのを待って、他部位（腹部、背、咽喉など）の照射をする事が大切である。

治療後、殆んど発作は止り、現在はサナモアを購入して、一家で使用している。

（本例の場合、翌日には親子でお礼に来られホットしました）が、紹介した奥さんも、娘さん達から、医者が見放した患者を紹介して、もしものことがあったらどうするの、責められたそうです。それが一回の治療で落着いたので、本当に喜んでいました。）

神戸市 ウエノ光線療法
上野 貞子氏 報告
TEL 078-133211 三三八

☆四肢の運動神経

麻痺

症例 30才 男性

症状 道路歩行中、急に直立歩行不能になり、当治療所にハイヤーにて運ばれて来た。来所時、四肢は完全に麻痺し、全く動かせなかったが、意識は清明で異常を認めない。

なお近医は飲酒のためだから、手当の方法なしと断ったと

いう。

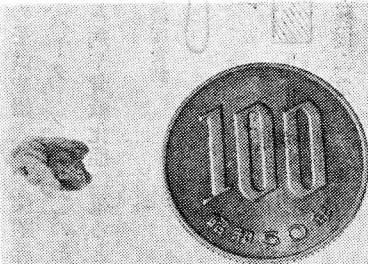
療法経過 ABカーボンを使用して、足裏、足首、膝、大腿、腰、股関節に各五〜二十分。背、肩、後頭部、頸、上肢関節、肩関節、手関節、喉頭、腹に各五〜十分、と全身の照射を行った。治療開始十五分後に、手を貸すと立ち上ることが出来、更に肩につかまると五米位歩行した。約一週間の治療で、平常勤務可能となったが、念のため三

口腔内から石が出た

大阪 堀越 道子

歯槽膿漏のため、歯科に通院しておりました。歯を抜くので、レントゲンを撮った時に舌の裏側の奥の方に堅い石の様な物があるから、専門医に診てもらおうように云われましたが、食事に不自由もなく、痛くもないので、その後六ヶ月位は、そのままだにしていました。ふと気がつき、触ってみましたら、前より大きくなり、堅いように思いました。病院へ行くと手術されると思い、上野先生（ウエノ光線療法）に相談しました。所、BCカーボンで毎日2回位、二十分程かけるように言われ、二週間位かけましたら、突き破って先が尖った物が、手に触りました。舌の裏

愛用者だより



（左）口腔内から出た石、（右）100円玉

ラと砂の様に砕けました。矢張り石だと思ひ、続けて二週間位かけましたが、この間にも専門医で切ってもらったが、下の方で大きくなっていく石も直ぐに取り出せて、す

ヶ月間治療した。

（本例は、大変な偏食家で、生野菜や海藻類は全く食さないとのことなので、偏食を改める様に指導し、実行させることによって治療効果を元め得た。）

☆切迫流産

症例 33才 女性

症状 妊娠3ヶ月目に、不正出血を認め、産婦人科医の治療を3日間受けたが止血しなかつ

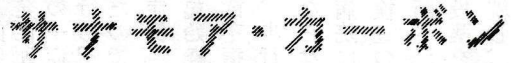
たため来所された。

療法経過 足裏、足首、膝、腰、腹、下腹部、背に各五〜十分照射。別に下腹部に第一集光器を使用して三十分照射したところ、3日目に止血した。カーボンはAとCを使用した。

本例はその後Aカーボンを用いて光線照射を続け、無事男児を出産した。

春日市 前田光線治療所
前田 三子氏 報告
TEL 092-5811203 三九

うっとするだろうと思ひ乍ら、切られるのが嫌で、サナモアを続けておりました。朝から晩まで舌で触って気にしていました。一度も痛んだ事がなかったのに、夜中に痛みました。朝起きましたら、口の中がネバネバしてあります。気持ちが悪いなあと思ひ乍らトイレに行き、舌で触った所、ポロリと何か出ました。手で受けて見ましたら、小指の爪位の石です。どうしよう出ました。（写真）自分でも驚き、家中の人に連れて吃驚しました。切られるのが嫌さに、一生懸命かけましたら、まさか勝手に石が出るとは思いませんでした。すぐ上野先生に御礼の電話をして、石の出た傷口が膿まぬようBカーボンで一週間かけ全快しました。嘘の様な話ですが、本当に嬉しく、サナモアに感謝しました。



揖斐川電気工業・青柳工場

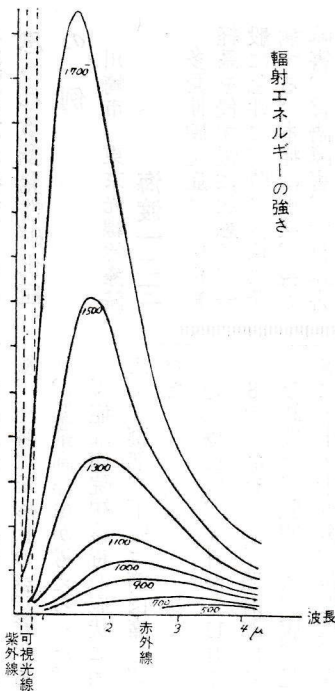
五 発光現象

さて、カーボン・アーク灯(サナモア)が健康増進、疾病治療に効果のある波長の光線を出す原理について考えましょう。

この発光現象は温度放射とルミネセンスの2種類に分けられます。

1 温度放射
全ての物質は、プラスの電気を持つ陽子と、中性子を核にしてその周囲を回る一の電気を持つ電子によって構成され、陽子と電子の数は同数で釣り合っています。

輻射エネルギーの強さ



温度と光線

効果ある波長を出す原理

太陽と同じ摂氏六千度になれば、全く太陽と同じ光を出す訳ですが、そうは問屋が卸さないのは地球上にはこの温度に耐える物質がありません。

改善の策としては、地球上のあらゆる物質の中から、最も高温を発するものを捜す必要があります。ここで発見されたのがカーボン(炭素)であり、有効な光線を得るためにも、前号ま

す。そして絶対0度(摂氏マイナス二七三度)から少しでも温度が上がると、電気を帯びた粒子の運動によって電磁波を出します。この現象を温度放射と呼び、この時発生する電磁波の周波数や強度は連続しているため、連続スペクトルと言われます。

しかし現実には、摂氏五百度を越えないと目に見える光となりません。これは網膜に光化学変化を起すには波長が長すぎ

ためです。それでは温度放射には、何如なる法則があるかを簡単に述べたいと思います。

図1に温度放射と光の関係を示しましたが、物体は高温になるに従って段々と波長の巾を広げ、短波長の光を発生し、最終波長も短波長の方、即ち紫外線側に移動し(ウィーンの法則)電磁波の強さは絶対温度の四乗に正比例します。(ステファン・ボルツマンの法則)ですから

で述べた如く、最高品質の原材料を使い、厳重な品質管理が要求されるのです。

ここで、芯詰する前のサナモア・カーボンについて述べますと、殻部分は、A B C Dとも共通で、必ず白色光を放って燃焼しますが(光を一般に赤と表現するのは温度が低いいため、長波長の可視光線、即ち赤を強く感じることに由来)太陽光線との違いはオゾン層で吸収され地上には到達しない極めて短波長の

人工光線発生装置

紫外線を豊富に含む日光に、治療効果が高いことから、日光療養所は好んで高山に建造されました。これは高山では空気が清澄で、塵埃や湿気がないため透過力が最も微弱な紫外線の吸収が少なく、平地の3~5倍の紫外線が地方まで到達するためです。しかし太陽から紫外線を求めるには、このように特殊な場所を要し、雨天には利用できないなど、多くの難点があることから、人工的に紫外線を作る企てが起ったのです。しかし実際上、紫外線を発生することは可視線、赤外線に比べると、甚しい困難を伴いました。

現存する人工光線発生装置の中で、紫外線を出し得るのは、カーボンアーク灯と水銀石英灯に大別されます。初期のカーボンアーク灯は、紫外線量が十分でなかったため、紫外線のみを多量に放射する水銀石英灯が之に変わって広く利用されたのです。しかしその後、カーボンに芯剤を混入することによって、紫外線量を増すことに成功した結果、太陽光線に酷似した連続スペクトルを出すカーボンが作れるようになったのです。

光線療法が奏効したと思われる多発性硬化症の一例

川崎市 東京光線治療院
海渡一二三

多発性硬化症は、中枢神経系を侵す慢性疾患で、一般に急性に、時に緩徐に発病する。本症は漸次、視力障害、言語障害、歩行障害、排尿障害、精神障害など多彩な神経症状を示し、寛解、増悪を繰り返しながら10～20年の経過をとって進行する。発症は20～40才に多く、男女差はない。なお現在に至るも有効な治療法はなく、厚生省によって難病に指定されている。

此度、某大病院で、多発性硬化症の診断で治療中の一例に、光線療法を施行し、臨床症状を改善し得たので報告する。

症例 36才、男性

起始経過 昭和53年2月に、食欲不振、めまい、手足のふるえ、歩行、言語、排尿が意の儘にならないなどの症状で、某大病院に入院し、一ヶ月間の精密検査の結果、多発性硬化症と診断された。その後、継続入院で投薬を受けていたが、症状は持続し、同年4月病院の外出許可を得て来院した。

症状経過 来院時、満月様顔

貌、全身に丘疹状の発疹があり、薬剤副作用が考えられた。現症は病院初診時の症状に加えて、腰部、下肢に筋肉痛を認めた。

光線療法は、4月から11月まで8ヶ月間行なった。照射部位および時間は、肛門、腰、腹、足裏に各15分、後頭部、左右側腹部に各5分、合計約六十五分で、毎日治療した。なおカーボン（最初の一ヶ月はA、二ヶ月目より四ヶ月目までA、五ヶ月目以降はAを用いた。光線療法開始後、著しい変化は、照射後に排尿が容易になったことで、このため当治療院での治療の外に、許可を得て病院内にもサナモアを持ち込み治療した。

治療開始 2～3ヶ月で、自発尿が可能になり、病院の治療も投薬が中止されたので、満月様顔貌、発疹は消失した。

治療開始 3～4ヶ月で、自覚症状は著しく軽快し、6ヶ月後には殆んど無症状（完全寛解）となった。通院治療は8ヶ月で中止したが、再発防止のため自宅治療は続けている。現在も経過観察中であるが、異常は訴えていない。

考察 多発性硬化症には、自然寛解が知られており、その上入院治療に並行して光線療法を行ったことから、有効、無効の判定は慎重でなければならぬ。しかし本例での経過を顧みると、光線療法施行後、始めて症状の改善を認めたこと、投薬は一般的にも無効例が多いが、本例でも有効所見が得られていないことなどから、光線療法が有効であったと考えるのが妥当であろう。

加えて、本症が温帯地方には稀で、熱帯への転地療養が治療に使われる事実や、予防に光線浴が有効との報告を勘案すると、サナモアの治療効果は予想し得るところである。

結語 極めて難治な疾患として知られる多発性硬化症の診断に富む知見を得たので報告した

目黒通信

☆明けましておめでとうございます。

☆晩近、光線御愛用者の増加は会員諸士のお陰で誠に目覚しく厚くお礼申し上げます。

☆「健康と光線」も再刊一周年を迎えることができました。有難うございました。

☆本年も宜敷しくお願い申し上げます。

＜7号器＞ 定価 85,000円
送料 6,000円

サナモア

＜8号器＞ 定価 65,000円
送料 5,000円

発売元

〒153 東京都目黒区目黒四一六十八
(株)東京光線療法研究所
電話東京 (03) 七九三二五三八一
七二二一五三三二

支柱別売 4,000円

■医療用カーボン
A B C D
1箱10本入 定価 1,800円
■「光線療法学」 (送料別)
(送料別) 1冊 定価 1,000円